



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部部報



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

第1号／2025-2026年度 BULLETIN

京都部部長	主題	次のステージを求めて！ Looking for the next stage！
西日本区理事	主題	世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!! "Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!"
	スローガン	あなたに寄り添う。あなたを忘れない。 "Stay with you. Never forget you."
国際会長	主題	"Faith, Love, Action" 「信念、愛、行動」
	スローガン	"Together Stronger" 「共に、より強く」
アジア太平洋地域会長	主題	"Act now with faith and love!" 「信念と愛を持って行動しよう！」
	スローガン	"Contribute to local society together with YMCA and Youth!" 「YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう！」

京都部部長
隠塚 功 (京都パレス)

西日本区理事
中井 信一 (奈良)

国際会長
エドワード オン (シンガポール)

アジア太平洋地域会長
田上 正 (熊本むさし)

次のステージを求めて！ Looking for the next stage!

第30代京都部部長 隠塚 功

京都パレスワイズメンズクラブ

皆さん、こんにちは

京都部30期部長を務めさせていただきます京都パレスクラブの隠塚功です。この一年、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、今期の私の部長主題は「次のステージを求めて！」とさせていただきます。京都部は日本国内で唯一、クラブメンバー数が増え続けている地域で

す。しかし、一方で解散するクラブが在ったことも事実です。今期、京都部は30年という節目を迎えます。この節目に京都部が新たな事業を行うというよりは、この京都部の節目を機会に、各クラブが一層、充実し、メンバーも増え、活動が活発になっていくきっかけづくりに京都部としては取り組ませていただきたいと思います。そのために、まずは、他の奉仕団体や異業種交流会と私たちワイズメンズクラブはどこが違い、その良さを生かした活動ができているのか。また、各クラブがこれまでの運営の継続だけにとどまっていないのかどうか。このことを改めて皆さんに考えていただける機会を提供できればと思っています。各クラブが今年の干支である巳のように、脱皮をしながら、より大きく充実した組織に変わっていかれることを期待し、そのお手伝いもさせていただきます。

ちなみに、今期は期初の8月1日から3日の日程でアジア太平洋地域大会が熊本で開催されます。そして、9月13日に京都部会を開催いたします。何れもワイズメンズクラブが国際クラブであることを感じられる機会になると思います。自クラブの活動にとどまるのではなく、こうした機会を積極的に生かしていただき、京都部550人、西日本区1260人、アジア太平洋地域3400人とのワイズライフを楽しんでいただきたいと思います。この一年が京都部の各クラブにとっても節目の一年になったと振り返られますよう、主査、事務局の皆さんと協力し、そして会長の皆さんと連携して活動してまいります。

皆さん、新たなワイズライフを楽しむ一年にしていきたいと思います。宜しくお願い致します。





次期部長

寺久保 吉雄 京都グローバルワイズメンズクラブ

この度、京都部次期部長を拝命いたしました、京都グローバルワイズメンズクラブの寺久保吉雄と申します。当クラブが部長を輩出したのが初代の30年前、次は16年前となります。部長輩出当時を把握しているメンバーが少なく、まず何をするのか、何から手をつけてよいのか困惑しておりました。会長在職中に多くのワイズメンの皆様と繋がり仲良くしていただいたご縁で、同期会長の皆様や歴代部長や京都部の皆様には、親身にアドバイスをいただき大変勉強になりましたことに厚く御礼申し上げます。お陰様で手探りながら次期に向けて踏み出すことが出来ました。現在は隠塚部長の元で学習しており、思慮深く立て板に水のようなスピーチと役員会の取りまとめに敬服しており、京都部役員皆様のスキルの高さと明るく温かい雰囲気的环境下で刺激を受けております。毎回不識なことに直面し自ら鼓舞している真っ只中でございますが、職責を理解し誠実に努めて参ります。また今期は部長の準備期間として、ワイズとYMCA理解をより一層深めていき自力をつけられるように研鑽して参ります。歴代部長の足跡をたどりますと、京都部に対する熱い思いが身に染みてきており、具体的に次期京都部で何が出来かは未定でございますが、一番良い選択になるように模索して参ります。次期部長として微力ながら隠塚部長をお支えして参りますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



直前部長

山下 大輔 京都トップスワイズメンズクラブ

29期部長期を終え前期では、各クラブの皆様には御協力頂き本当に有難う御座いました。部会では各クラブからの余興をして頂き皆さん練習などには相当なお時間を割かれたと思います。ワイズデーでも各クラブの出演して頂いたクラブさんや設置・運営のお手伝いをして頂いたクラブさんにも本当に感謝しております。こうして、前期では皆んで創りあげる部会やワイズデーを開催したかった想いでした。そうすることで、各クラブの盛り上がりや京都部全体が盛り上がって行けるか感じておりました。皆様のご協力のお陰で盛大に行われた事をこの場をお借りして感謝致します！次期では直前部長という役職となりますが、また一年間30期隠塚部長の元皆様で京都部の方盛り上げて行きたく思っておりますので何卒宜しくお願いします！



監 事

武村 松一 京都ウイングワイズメンズクラブ

一年間お世話になります。

京都部への御奉仕も4年目を迎えます。これだけ続きますと余裕しゃくしゃく、と思われがちですがいかんせん元々性格がズボラゆえ1年前・2年前のことなど覚えてはるもなく、「前は？」とか「部長の時は？」とか聞かれてもしどろもどろになっております。今回は準備万端整えられます部長ですので心配はしておりません。ただ、記憶の残っていることはすべてご協力させていただこうと思っております。部長始めキャビネット・役員の方々は、この部報が発行される頃が一番大変且つ充実されている頃ではないかと思ひます。そのお気持ちを持続しつつ、徐々に役職にも慣れ、なおかつ一部の役員以外の方は事業をこなされて、しなければいけないことが減ってきます。そうなったら余裕も出てきて楽しくなってくるでしょう。そうこうしてるうちに期末が近くなり、楽しかったこと・面白かったことが懐かしくなってくるでしょう。それが「京都部の役員をすること」の醍醐味であろうと思ひます。来年の今頃にその醍醐味を満喫されることをお祈りいたします。1年間よろしくお願いいたします。



YMCA連絡統括主事

藤尾 実

きることを祈っています。

京都YMCAは2024年度からの中期計画2年目として、中期計画で掲げた目標達成のためにコロナ禍で途切れたさまざまなつながりを再び結びつける働きを通して、地域社会の課題解決、つながりの構築と人材養成に取り組んでゆく所存です。さらに、2026年に開設60周年を迎えるリトリートセンターを京都YMCAの会員による青少年育成の拠点とするため、「リトリートセンター60周年の記念募金」を募集し記念事業を進めてゆきます。

YMCAとワイズメンズクラブが車の両輪の関係となり、共に地域から必要とされる存在となり、社会の課題に取り組んでいきたいとします。この一年もどうぞよろしくお願いいたします。



書 記

大橋 芳夫 京都パレスワイズメンズクラブ

今期、京都部書記を拝命しました。書記自体初体験。僕は今期で入会10年目に入り、そろそろ中堅どころに入ってきたのではないのでしょうか？京都部に来るのも2年前のEMC事業主査に続き、2回目になります。今までの経験を生かして、今期は隠塚功京都部部長のもとで、1年間、京都部が円滑に運営出来るようにお手伝いしていきたいと考えています。

隠塚部長の主題が「次のステージを求めて！」なので、僕も自分なりにステージを意識して1年間を過ごしていきたいなと思います。そのために、まずは自分の状況や立ち位置を把握したり、自分に出来ることや、求められていることの把握をしていく必要があるのかもしれませんが、まだまだ、自分のことのコントロールはままなりません、他のワイズメンと協力して過ごしていきたいなと思います。今から、楽しみです！



書 記

池袋 晴彦 京都パレスワイズメンズクラブ

第30期京都部書記を務めさせていただくことになりました、池袋晴彦と申します。

前期はパレスクラブにて三役の一つである会計を担当しました。会計を経験したことで、これまで委員会を中心に活動していた自分にとって、クラブ全体の動きを知る貴重な機会となりました。ワイズメンズクラブの活動の奥深さ、仲間とともに取り組むことの大切さを、改めて実感した一年でした。

京都部には現在19のクラブがあり、それぞれ特色ある活動を展開されています。今回、京都部の役割を担わせていただくことで、これまで以上に多くのクラブの皆さんと交流できることを楽しみにしています。新しい出会いや学びの中で、自分自身も成長していきたいと考えています。

隠塚功部長のもと、京都部全体がスムーズに、そして楽しく活動できるよう、書記として少しでも力になれるよう努めていきたいとします。まだまだ至らない点も多いかと思いますが、どうぞ温かくご指導いただきながら1年間よろしくお願いいたします。



会 計

渡邊 大介 京都パレスワイズメンズクラブ

節目となる京都部第30期の会計を拝命いたしました京都パレスクラブ入会8年目の渡邊大介と申します。

2025-2026年度の京都パレスクラブはクラブチャーター55周年に加え、ラオスにYMCA国際ホテル専門学校の開校予定、そして隠塚京都部部長の輩出というようにクラブメンバー総動員で迎える1年となります。

このような中で京都部キャビネットの一員として、クラブには出させていただいたという感謝の気持ちを持って、気を引き締めて取り組んでいきたいと思います。

すでに会長主催研修会、Yサ懇談会も終え、スタートが近づいていることをひしひしと感じておりますが、部長・役員の皆様と一致団結して、益々の発展をしていく京都部に少しでも貢献出来るよう、また京都部各クラブの方々との交流や親睦の機会を楽しみながら積極的に活動することで充実した時間を過ごせるよう努めてまいります。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。



事務局長

服部 洋典 京都パレスワイズメンズクラブ

事務局長を拝命しました、京都パレスクラブの服部です。

キャビネットのお役目としては、部の運営はもちろんのこと、部長や各事業主査が活躍できる環境をサポートするものと考えております。

事務局長としましては、各種資料の発信・受信、連絡係的なものが多く、各クラブとの連携役といったお仕事が多いかと思えます。私自身、これまでクラブの外に出て行った経験が少なかったのですが、昨期、PR委員長として京都部で活動させて頂いたおかげで、クラブを跨いでの交流を経験し抵抗が少なくなりました。2年続けて京都部に関わらせて頂けましたので、その経験を活かす事ができると思います。

また、事務局長ネタではありませんが、PR専任委員会におきまして直前PR委員長として、もう1年お役目があります。昨年からスタートしました「京都部Instagram」について、澤田PR委員長から継続OKを頂いておりますので、引続き、発信していきたいと思えます。

30期という節目の期に京都部に関わらせて頂ける事に感謝し、色々と研鑽に励みたいと思えます。

1年間、どうぞよろしくお願い致します。



主査主題

NO Yサ・ユース、NO Y's LIFE

YMCAサービス・ユース事業主査

安田 繁治 京都ウエストワイズメンズクラブ

今期京都部YMCAサービス・ユース事業主査を務めさせていただきます、
ウエストワイズメンズクラブの安田繁治です。この事業主査をさせて頂くに当たり、もう一度YMCAサービスについて考えてみました。

YMCAのサポートをするってことは、YMCAが支えている障害を持った子供達や、キャンプを楽しみにしている子供達、その子供達たちに楽しみを与えたり様々な経験を積んで成長していくリーダー（大学生）達。

そんな子供達のため、彼らの成長のためになる活動をしている、それがYサ事業なんだと改めて思いました。今期、隠塚部長の活動方針にも掲げられている、ラオスに開校するYMCA国際ホテル専門学校も言うなればYサ事業になるのではと思っております。これに伴い国際協会の一員であることを18クラブ全員が強く認識し、ワイズダム運動を更に深めるための手助けをして行きたいと思っています。このような気持ちを胸に、皆様の素晴らしいYMCA活動のお役にたてるよう努力していきたいと思っています。一年間どうぞよろしくお願いいたします。



主査主題

心豊かな世界を地域から ～Peace from the local community～

地域奉仕・環境事業主査

渡邊 えみ 京都キャピタルワイズメンズクラブ

京都部地域奉仕・環境事業主査を拝命いたしました京都キャピタルクラブの渡邊えみです。

お話を頂いてから返答するまでの間、気持ちが行ったり来たりし相当悩みました。しかし今は、プレッシャーを感じながらもワクワクしています。主題には、国際協会であることを意識して世界と入れました。活動拠点である地域の小さな輪から大きな輪へ様々なNPOや行政とかかわり、交じり合いながら笑顔と優しさが広がることを願っています。11月のワイズデーは、京都YMCAの拠点である三条通りの「京の三条まちづくり協議会」と協力し、4年目になる通りから始めるまちづくり「三条通りで遊んでみよう」のイベントと、同時開催としたいと思います。

京都YMCA本館と前面道路である「富小路通から柳馬場通」と「東洞院通から烏丸通」を歩行者専用道路にして道で、さらに寺町通から新町通の使用許可をいただいている民地にて、様々なワークショップを展開し、互いが互いの事を知り繋がり広く認知いただける機会になり、青少年が夢を描けるようなイベントにしたいと思います。みなさまワイズメンの力と、行政、他団体との連携で部長主題の「次のステージへ」の足掛かりとしたいと思います。また、各クラブで取り組んでらっしゃる地域奉仕・環境事業は事業報告書を通して教えていただけると嬉しいです。とにかく楽しく事業を一緒にできるように精一杯いたします。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。



主査主題

クラブの未来を共に創る！継続的な成長と絆を深めよう！

EMC事業主査

森下 克己 京都グローバルワイズメンズクラブ

新たな期の始まりにあたり、ごあいさつ申し上げます。

私たちワイズメンズクラブは、「奉仕・友情・国際理解」の理念のもと、地域社会とつながりながら活動を続けてまいりました。その活動をより豊かに、そして持続可能なものにしていくためには、新たな仲間が存在が不可欠です。今期のEMC主題を【クラブの未来を共に創る！継続的な成長と絆を深めよう】とさせていただきました。

EMCの使命は、メンバーの満足度を高めるとともに、クラブの未来を共に築く“仲間づくり”をお手伝いすることにあると考えております。

京都部としては、継続的に成長し続けるクラブづくりや、充実した例会運営のサポート（ゲストスピーカーのご紹介等）を積極的に行ってまいります。

その結果として、京都部全体で600名の会員達成を目指してまいります。

今期は、既存の枠にとらわれず、多様な方々にワイズの価値を伝えられるよう、工夫と対話を重ねてまいります。EMC活動を通じて、クラブがより活性化し、メンバー同士のつながりがさらに深まることを願ってやみません。

微力ではございますが、皆さまと力を合わせ、京都部の発展に貢献してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



主査主題

♪友達 100人出来るっかな～♪

国際交流事業主査

山田 登喜雄 京都めいぶるワイズメンズクラブ

第30期 京都部国際・交流事業主査を拝命致しました。山田登喜雄で御座います。

国際・交流事業に関しては、まったくの手探り状態でのスタートとなりますが、主題にも上げております、「♪ともだち100人できるっかなあ♪」の主題通りに私自身も皆様と交流を深め、友達になれるような、そんな活動が出来ます様努力して参ります。

ワイズメンズクラブの醍醐味は「人と人とのコミュニケーション」だと思います。もしワイズメンでなければ知り合う事がない方々と、いつの間にか一緒にボランティア活動や例会・お食事会（飲み会？）等で時を過ごし、当たり前の様に週1でメンバーと会っている事は、皆様が一番感じ想っている事ではと思います。そんな当たり前の輪を京都部内他クラブとも繋がっていき、そして他エリア（海外含む）のクラブとの交流に発展していく事が大事かと考えております。

私自身、緊張と不安でいっぱいですが、頑張ったその先に必ずある新しい友達に会う為に一生懸命努める所存で御座います。

皆様のご尽力あつての交流です。是非、楽しい友達作りを一緒に行って行きましょう！！

1年間宜しくお願い申し上げます。



主査主題

ユイズメンズクラブの認知度向上に貢献する効果的なPR活動

PR委員長

澤田 哲平 京都プリンスユイズメンズクラブ

今期、PR委員長を務めさせていただく京都プリンスクラブの澤田と申します。

「ユイズメンズクラブの認知度向上に貢献する効果的なPR活動」がこの1年の活動目標です。ユイズメンズ全体はもちろん、各クラブが行っておられる社会貢献活動をより多くの人たちに知っていただく情報発信を強化したいと考えています。

と堅苦しく偉そうな目標としてしまいましたが、まさか自クラブでも大して貢献できてない自分が京都部のお役を頂戴することになるとは…。楽しみ半分・不安半分、自分にできることを精一杯やり抜くことこそが、本当の目標だと思っています。

多くの方に情報を届ける手段として、ホームページはもちろん、InstagramやFACEBOOKといったSNSの活用がこれからますます大事になってきます。

特にInstagramは若い人たちが多く利用しており、特にこの活用を強化していきたいと考えています。現在の京都部アカウントのフォロアー数は600人弱ですが、今期1,000人にしたい！フォローしてくださる方が増えれば増えるほど、情報の広がり方もどんどん加速していきます。この機会に、ぜひフォローしていただけると嬉しいです。

無我夢中の1年になりそうな予感です。どうぞ皆様よろしくお願いします。



京都部公式インスタグラム



Follow Me

左のQRコードを読み取るだけ！
フォローをよろしくお願いします

京都ワイズメンズクラブ 会長 高田 敏尚

会長主題 クラブ、ルネサンス (KYOTO-CLUB Renaissance)

副 題 ルネサンスは中世イタリアでの復興運動です、



こんにちは。今期、会長を拝命しました高田敏尚です。2度目の会長です。といいますのも、京都クラブのいまのメンバーが14人という現状から、2度目となったのです。2月末に台湾へ行ってきました。コロナの間、海外は行ってませんでしたから久々の海外です。高雄から台南、台中、台北と巡る忙しいパックスツアーでした。最初の町、高雄は港町です。小高い丘からみると、はるかかなたまでコンテナが積み上げられており、活気を感じました。港といえば、日本では神戸、横浜をすぐに思い浮かべますが、皆さんはおかがでしょうか。日本の5大都市といえば、東京、大阪、名古屋、そして京都、神戸でした。前に大阪で万博があったところの話です。今は、5大都市というと東京、横浜、大阪、名古屋、札幌という順番です。港も、コンテナ取扱量1位は上海、2位はシンガポール、僕が見てきた高雄は17位です。いま、神戸は72位、横浜は68位です。ちなみに、40年前の1980年では、神戸は4位、横浜は13位だったのです。僕たちの認識は、ずっと昔のまま、京都は日本の5大都市、神戸や横浜は世界に誇れる港湾都市という頭なのですね。1人当たりGDP（国内総生産）で比較をすると、日本は世界で38位、台湾はすぐ上の37位、韓国はもっと上です。なかなか、しみこんだ感覚は抜けにくいようです。ふりかえって、京都クラブはといいますと伝統、YMCA奉仕、格式などの評価をいただいていたのですが、先ほども言いましたように、現状メンバー14名、これまでになかった状況です。神戸や横浜は京都クラブを象徴しているようにも思えます。そこで、会長を引き受けるにあたり「京都クラブ ルネサンス」という主題を掲げました。ルネサンスは、中世イタリアで起こった文芸復興運動です。復興、これまでの在り方に縛られず、何としてもメンバー増強を柱としたクラブのたてなおしに注力していきます。各事業委員会の活動方針も「何とか人が集まってくるクラブ」をめざしてもらっています。EMCだけに任すのではなく今期は全メンバーが新会員増強に力をいれてほしく思います。そのためには、貴重な他クラブの経験や教訓を学ぶ必要もあるでしょう。ちょっと肩肘はってますが、今期自然体でスタートしていい結果を残したいものです。クラブのみなさん、京都部のみなさん、どうぞよろしくお願いいたします。

京都パレスワイズメンズクラブ 会長 新納 麻衣子

会長主題 恩返し and 恩送り

副 題 恩送りのバトンを次の世代に



入会して13年目にして会長のお役目がまわってきました。我がクラブ設立55周年という記念すべき大切な節目の年に会長を務めさせていただくこととなり、身の引き締まる思いです。

会長主題は恩返し&恩送りといいたしました。クラブに入会したことで多くの友人ができ、かけがえのない時間を共有したことで、人生がいい方向に変わりました。今までお世話になったパレスクラブへの「恩返し」が一つ目の主題です。二つ目の主題は「恩送り」。恩を受けた相手に返すのではなく別の人に送るという意味です。今まで多くの人たちからもらった恩を、YMCAのこどもたちなど次の世代におくる「恩送り」をテーマに活動していきます。

今期は京都部部長に隠塚功ワイズを輩出いたしました。クラブ全員で京都部部会を成功に導き、京都部を盛り上げていけるよう務めてまいります。また、西日本区Yサ主任に山本一博ワイズを輩出いたしました。恩送りの精神でYMCAへの奉仕活動を行い、充実した1年としたいです。

また、55周年記念例会を4月18日に開催いたします。ラオスにビエンチャンYMCA国際ホテル専門学校が4月開校予定です。京都部のワイズメンからも多くのご支援をいただきました。周年事業の集大成としての開校を皆さまと一緒に祝いいたします。多くの皆様のご出席をパレスクラブ一同お待ちしております。

京都ウエストワイズメンズクラブ 会長 中川 由宇

会長主題 肝胆相照

副 題 ～認め合い、高めあう～



会長主題及び活動方針を作成するに当たり、ワイズメンズクラブのモットーの意味を改めて考えました。「強い義務感を持つと義務はすべての権利に伴う」の意味は、次のように考えることができます。

「権利」は「自由」と言い換えて差し支えないように思います。私たちは、（少なくとも私たち市民の自由が保障される社会においては）自由な意思にしたがって、自らの生き方を決めることができる存在です。しかし、各人が欲望のおもむくままに行動しようとすれば、それらの欲望は衝突してしまいます。各人が互いの自由を尊重し、他者の自由を不当に害しないよう配慮しつつ自らが望むように生きようとする中で、自由な社会が実現するのではないのでしょうか。このように考えると、すべての権利（＝自由）に伴う「義務」とは、他者の人格や自由を尊重することであると言えます。クラブのモットーが私たちに呼び掛けるのは、「強い義務感」を持つこと（直訳すると、義務を認めること）です。これは、各人がどのような生き方をするのかを探求し、その結果として、意識的に他者の人格や自由を尊重する生き方を選択することを期待する言葉と考えることはできないでしょうか。私たちは、日々、家庭や職場において、あるいはクラブ活動を通じて、愛と奉仕の実践をしていますが、その根底には、他者の人格や自由を尊重する精神があると思います。

互いの存在を認め合うこと、そして、真に他者や社会のためになる愛と奉仕の実践とは何かの探求を通じ、互いを高め合う存在となること。このような関係を築くことができたなら、素晴らしいことではないのでしょうか。互いに心の底を打ち明けられる間柄（肝胆相照）となることで、互いを認め合い、高め合うことができる。そんなクラブを目指したいと思います。

京都めいぶるワイズメンズクラブ 会長 野口 治之

会長主題 やっちゃんえ、めいぶる。

副 題 やらなきゃ、始まらない



めいぶるワイズメンズクラブに関わり、5年となりました。

右も左もわからない中でいろいろな方々に助けていただき、あっという間の5年間でありました。ワイズに関わらなければ、決して交わることのなかったであろう奉仕活動の数々。今まで見えなかった、見ていなかった景色が広がり、様々な人々と関わることで知見も増え、自身の研鑽につながったと実感できます。今期、このような経験をより多くの方々に広げていきたいと考えています。

昨今、人との関わりが少なくなり関係性も希薄になっていく中で、声をかけられることを待っている人も多くいるはずです。コスパ・タイパばかりを重視するのではなく、人との関わりが持つ素晴らしさ、会話で生まれる経験の共有、種々の意見が交錯することで磨かれる感性といった自身の成長につながるメリットを全面に出し、会員増強に邁進していきます。

他方、クラブの存続においても会員増は必須事項であり、活動自体を継続するために必要と考えています。

また、既存会員の満足度を上げるため、例会の質も上げていくことに取り組みます。一例として、前期一度だけ実施した合同例会を増やします。

新しい風を吹き込むことで、新たな交流が生まれ多方面に派生していく流れを作っていきます。

結果として、現会員の出席率も上がると考えられ、ゲスト引率の可能性も相対的に高くなります。

実績を示すことで、他クラブから目標としてもらえるクラブ運営を目指します。

京都キャピタルワイズメンズクラブ 会長 宮崎 順巳

会長主題 恩送り

副 題 ～メンからクラブへ クラブからYMCAへ～



京都キャピタルクラブ43期会長を拝命いたしました、宮崎順巳です。

皆様、よろしくお願いいたします。

まだまだ先だと思っていたのですが、本当にあっという間に目前に迫っていました。

キャピタルクラブは今、非常にいい状態にあると思います。会歴が浅いメンバーもベテランメンバーもお互いに協力しあい、支えあい、いい空気がクラブに流れています。

会長を受ける身としては本当に嬉しく思っています。

これもこれまでクラブを支えてこられた諸先輩方のおかげだと感じています。

頼りになるメンバーの皆様に支えていただきながら、会長期を思いっきり楽しみたいと思います。

また今期はキャピタルクラブから渡邊さんがCS主査として出られるので、渡邊さんが考えておられることに対して、クラブとして全力でサポートしていくつもりです。

初めての会長の私と初めての主査の渡邊さんを皆様、よろしくお願いいたします。

京都プリンスワイズメンズクラブ 会長 今西 英隆

会長主題 良い思い出をつくりましょう！

副 題 ～Making Good Memory！～



我が京都プリンスクラブも創設40周年となりました。今期は会長主題にもある通りメンバー全員で『良い思い出をつくりましょう!!～Making Good Memory!』とし、みんなで時間を共にして、とにかく思い出に残る楽しい期にしたいと思っております。

思い返すと、私の入会した約10年前には、ちょうど京都部長に廣井ワイズを排出し、京都部会をプリンスクラブが受け持つタイミングであったことから、まだ自分自身がクラブ活動について右も左も分からない中、とにかく夢中で京都部会開催まで走り切り、メンバー全員でフラッシュモブを踊った事は、今となってはワイズメンズクラブに入ってからが一番の良い思い出になっております。

今期1年間は、“あの時の感動をもう一度!”という気持ちを込めて、40周年記念例会の準備完了を目指すと共に、その活動を通して、ワイズメンズクラブの素晴らしさをクラブ内外に発信し、前期に引き続き、素晴らしいメンバー獲得に繋がたいと考えております。

最後に、これからのワイズメンズクラブのより一層の繁栄のためにという事で、京都部の活動の重要な拠点となるリトセンへ遊具を寄贈するという事を40周年記念期アクトに掲げております。遊具の寄贈後は、子供達を中心にリトセンに行きたくなる様な流れが生まれればと思っております。アクト実施にあたっては、チャリティボーリングや卓球などのクラブ内チャリティイベントや100人チャリティゴルフを4回実行する事を現在計画しております。チャリティゴルフ開催にあたっては、ワイズメンズクラブの皆様からの厚いご支援とご参加を心からお願い申し上げます。

京都ウイングワイズメンズクラブ 会長 上田 敦

会長主題 仲間とつなげる、未来につなげる

副 題 明るく、楽しく、元気よく！



ワイズの活動は、一人だけではできません。

お互いを尊重し、助け合いながら、充実した活動を行うには、メンバー同士はもちろん、YMCAやユースリーダーの支援、新たな仲間との出会い、海外との交流など様々な形で「仲間」とつながりを持ち、さらに強めることが大切だと思います。

ワイズの活動は、今だけではなく、今後も持続可能な活動を目指す必要があると考えています。

そのために、次世代を担うメンバーや、ユースリーダー、そして未来を担う子どもたちに、私たちの思いをつなげていく必要があります。

ワイズの活動の幅を広げるためには、京都以外の方々と積極的につながることも重要です。日本国内の他地域はもちろん、世界のワイズメンとのつながりをもっと広げたい。

そんな思いを、会長主題「仲間とつなげる、未来につなげる」に込めてみました。

ワイズの活動は、みんなに「笑顔」と「元気」を届ける活動だと思っています。

「笑顔」や「元気」を届けるためには、まずは自分自身が「明るく、楽しく、元気よく」することが大切です。精神的にも、経済的にも、人間関係においても、「明るく、楽しく、元気よく」を実践することがなによりも重要だと思います。「明るく、楽しく、元気よく」を実践し、仲間とつながることを楽しみ、未来につなげることに喜びを感じられるような、そんなワイズ活動を実践し、これを我がウイングクラブの魅力として、どんどん発信していきたいと思っています。

京都洛中ワイズメンズクラブ 会長 竹山 直司

会長主題 ワイズをやらない理由を探さない



今期2回目の会長を務めるにあたり、私は洛中クラブの今後担う大事な1年であると確信しています。

若いメンバーには各委員長をお願いして、ベテランワイズにサポートを頼んでいます。

仕事の忙しい合間のワイズ活動になるのは間違いなく、不参加もやむなしの場合もあると思います。

わからない事だらけの委員長をサポートしながら自分も学んでいきたい。

今までの事業を継続して行きながらより充実したワイズ活動をメンバー全員に感じて貰いたいと思います。

どうしても忙しいと『やらない理由を』探してします自分に戒めるように今期は『ワイズをやらない理由を探さない』1年にしたいと思います。

そして来たる40周年を盛大に迎えられるクラブにしたいです。

京都エイブルワイズメンズクラブ 会長 中川 泰人

会長主題 変革！エイブルクラブ

副 題 新旧ともに楽しんで



前期において新入会員の増員があり、今まで通りのままではなく、新たな運営方法を模索し、新旧メンバーの距離を近づけるための親睦会など、交流の機会を増やしていき、『楽しいクラブ』『入ってよかった』と思えるクラブを創り上げていくための1歩となるように努めていきたい。

それによってワイズメンズクラブ、YMCAの活動にも積極的に参加することを通じて人との縁が広がり、メンバー1人1人の日々が充実していくことが奉仕に繋がっていくのではと思います。

ワイズメンズクラブに入会して3年となり、初めて会長という役に就任することとなりました。

以前までは会長をはじめ、諸先輩方の言われることを行っていくといったクラブ運営に取り組んでいましたが、これからは会長としてエイブルを盛り上げるためには何がいいのかを考えながら、新たに進めていくつもりで1年間を歩んでいきたいと思います。

まだまだ分からないことばかりではありますが、YMCAのため、クラブのために少しでも力になれる様に1年間取り組んでいきますので、宜しくお願い致します。

京都グローバルワイズメンズクラブ 会長 吉田 知弘

会長主題 『グローバルクラブは シンカ します！』

副 題 より広く、より深く、より良い親睦を！



京都部ワイズメンズクラブの皆さま いつもお世話になっております。

このたび、グローバルクラブ第33期の会長を拝命いたしました、吉田知弘（よしだ・ともひろ）と申します。1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私が担当いたします第33期では、当クラブより久保田EMC事業主任、森下EMC事業主査を輩出し、さらに次期34期には寺久保京都部部長の輩出が決定しております。そして次々期にはクラブ周年を迎える予定もあり、私の任期以降も注目すべき活動が続く見通しです。

このような中、私自身がグローバルクラブにどのように貢献できるかを考えました。

それは、50名を超えるクラブがさらに結束し、一枚岩となることだと考えています。

その鍵となるのが『シンカ（進化・深化・真価・新化）』です。

- 新化：新たな活動に目を向け、挑戦していくこと
- 真価：活動の本質や意義を深く理解し、メンバーと共有すること
- 深化：メンバー間の関係性を深め、より大きな楽しみを創出すること

こうした「シンカ」をメンバーの皆さまに体感していただけるよう、例会を共に楽しみ、事業へ積極的に関わり、その成果を皆で共有できる場づくりに努めてまいります。

一見すると当たり前のことかもしれませんが、こうした積み重ねこそが、メンバー満足の向上につながると信じております。だからこそ、私の会長主題を『グローバルクラブは シンカ します！』とし、シンカをテーマに今期の活動を進めて参ります。皆さま、シンカするグローバルクラブにご期待くださいませ。

どうぞ1年間、よろしくお願い申し上げます。

京都トップスワイズメンズクラブ 会長 鹿取 俊志

会長主題 クラブをより良く

副 題 友情と成長



主題の通りクラブをより良くという所に力を入れていきたいと思っております。

良い雰囲気楽しく、友情を育み、成長できるクラブである事が理想だと思います。

まずは参加してもらう事を考えています。

当たり前に参加されるメンバーもいれば不参加気味のメンバーもいるのが現状です。

例会はもちろんなのですがメンバーによって委員会や事業など参加しやすい所で声掛けをしていこうと思います。また例会や各事業などで力を入れる所を決めて、なるべく沢山の参加を募りクラブの一体感が出るようにしていきたいと思っています。

例会、事業などで楽しい事が増えるとクラブの優先順位も上がってくるのかなと考えます。

不参加気味なメンバーには少しでも参加をしてもらい、会歴の浅い方には楽しんでもらい、委員長などの経験を、これからクラブの主要となっていくメンバーには三役、会長を経験をして頂きたいと思っています。ベテランメンバーには沢山教えてもらう事があるかと思います。

新入会者がクラブを楽しめるようにサポートしていく事にも力を入れていきたいと考えています。

意識的な事を周知していくのは中々難しいとは思いますが、メンバー1人1人がそれぞれの距離感でクラブ活動をされているかと思っていますので、メンバー同士理解をし、尊重していければと思います。

自分自身もその時に寄って参加できる時、不参加気味になっている時がありましたので無理のないよう進めていこうかと考えています。

各事業委員会にこれからの方向性の提案、新しい取り組みの依頼や見直しをお願いしています。

担当三役と協力し、委員長、委員メンバーと少しでもより良いものにしていきたいと思っています。

京都トゥービーワイズメンズクラブ 会長 桶谷 雄一

会長主題 changing

副 題 克服していこう



今回、京都トゥービーワイズメンズクラブ30期の会長に任命して頂きました、桶谷雄一と申します。正直会長をさせて頂けるとは思っていませんでした。大の大人がアフターファイブや休日の大切な時間を使って何を目的に每期、同じ様な事業をやり続けるのだろうと観客席側の位置でいつも観戦していました。人々が集まり集団行動が凄く苦手で特に人前で話す事は避け続けてきました。

クラブの会長。言葉の通り会の長。もう避けて通れません。実社会では先ず経験出来ない立ち位置です。しかも皆さん素晴らしい魅力ある経歴の方ばかりです。でもこの環境はありえないシチュエーションだと最近気付いてきました。人の話を適当に聞いてきた自分。すぐにこの人はこうだと決めつけたり、変な愛想ずらして気を向けさしたり。こんな自分を改善するのに本当に素晴らしいクラブです。そして、クラブ内に留まらずこの会長期を機に他クラブの方々と交流させて頂き勉強させてもらいます。出会う人との会話は相手の瞳を見て何を伝えてくれているかを聞き、そしてどれだけ楽しめるかを意図します。これは観客席側から試合コートに降りる事だと思います。人生で1回しか出来ない会長です。思いっきりコートで暴れます。最後になりましたが、メンバーの皆様ありきのクラブだと思います。大切な時間を使った活動です。このメンバーの協力がなければコートに立てません。メンバーとのコミュニケーションを大切にして魅力ある楽しめる30期にします！

京都ウェルワイズメンズクラブ 会長 松田 博一

 会長主題 **ワイズライフは螺旋階段のように**

 副 題 **そこから見えてくる「温新知故」**


今期も京都ウェルクラブの会長を務めさせていただきます、松田博一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。「今期も・・・」と申し上げた通り、直前期に引き続き、二期連続の登板となります。私は今期の会長主題を“ワイズライフは螺旋（らせん）階段のように”といたしました。これは、二期連続で会長をさせていただく私自身への戒めでもあり、連続会長と聞くと、「一年では短いので、時間をもっとかけてしっかりと取り組んでいくために」というイメージを持たれる方もおられると思うからです。確かに、会長を務める期間が一年間というのは、会長としての独自色を出すには些か短いようにも感じます。しかしそれは、「一年間で完結させよう」と考えるからであり、Y's活動の本質は決してそうではありません。今回、クラブ設立20周年を迎え、改めてそう実感いたしました。Y's活動は、毎年同じことの繰り返しのように感じる方もおられるでしょう。また、価値観の多様化によって、奉仕活動や、親睦・交流に求める、メンバー一人ひとりの思いも様々だと思えます。しかし、同じことの繰り返しのように見えるY's活動も、自分が高まっていけば、螺旋階段のように、上へ上へと昇っていくことができます。また、目的が何であっても、自分自身が成長していける実感を得られれば、そこに集う意味が見いだせます。これがワイズライフの醍醐味です。私たちウェルクラブは、「奉仕・親睦・自己研鑽」この三つのバランスを大切にしながら、ワイズライフは螺旋階段のように、メンバー皆で新しい経験を重ね、より高いところから見る景色を味わいたいものです。そして、新しい景色を目にしたとき、改めて、その礎は何も変わっていないことに気づくのではないのでしょうか。

京都ZEROワイズメンズクラブ 会長 加藤 学

 会長主題 **「超感動」**

 副 題 **～感動を共にする仲間に～**


ZEROクラブってどんなクラブ?? そう皆様から聞かれたときになんて答えるのか・・・それを考えて会長主題「超感動」を決めました。私がZEROクラブに入会した時、メンバーの皆さんは笑顔と握手でお出迎えくださり、その笑顔と握手から温もりを感じました。「心ある人・温もりある人」が多いクラブだと感じて入会しました。今もなお、ZEROクラブの一員として楽しさ・温もりを感じて在籍しております。そんなZEROクラブで周年期に会長を拝命させて頂き、緊張と重圧とは御座います。ですが、一方でどんなクラブを創ってみたいか、1年間どのようにワイズライフを過ごすのかを考えると楽しさも同時に感じている事も御座います。なぜ楽しさも感じるのかというと、やっぱり心あるメンバー、温もりあるメンバーの皆様が居てくださり、支えて頂けるメンバーを信じているからだと思えます。そんなメンバーがいるZEROクラブとは一言でどんなクラブと聞かれたら、私は「超感動」できるクラブだと思ってますし、言いたいと思います。こんな我がZEROクラブのメンバーだからこそ、皆でひとつ、ひとつ、丁寧に事業に取り組めば全員が「超感動」できる仲間になれるんだと思っております。この先メンバーがどんどん増えたり、残念ですが退会されるメンバーもおられるかと思えます。もっと、もっと10年後、20年後の先になれば亡くなるメンバーや、私自身もZEROクラブにいないかもしれません。だけど、どれだけ人が入れ替わろうとZEROクラブのこのDNA、魂は、心豊かな人、温もりある人が、ZEROクラブでは続いていくのだらうと信じてますし、願ってみたいです。そんな今後永久にあるZEROクラブの魂みたいなもの。そんな人たちがいるZEROクラブとは、「超感動」出来るクラブなんだと強く伝えていきたいと思えます。私も、まだまだ未熟では御座いますが、メンバーの支えを胸に刻みながら成長しながら「超感動」しながら、ZEROクラブの一員として、メンバーと関り一緒に「超感動」を模索し創りたいと思えます。また全てのワイズメンズクラブの一員として他のクラブの方や、沢山のワイズメンの方たちと関わっていき、他のワイズメンズクラブを知り、交友を拡げて自信の視野を拡げていきたいなと思えます。京都部・西日本区・全国・世界で「超感動」できるワイズメンズにしたいなと思えます。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

北京都フロンティアワイズメンズクラブ 会長 湯沢 隆

会長主題 「10年分の感謝！」

副 題 笑顔溢れるフロンティアクラブ～今この時を楽しもう～



このたび、北京都フロンティアクラブの会長を務めることになりました。

まだまだ未熟ですが、仲間とともに、笑顔あふれる一年にしていきたいと思っています。

今年は、クラブにとって大きな節目となる「10周年」を迎えます。

これまで支えてくださった皆さんに感謝の気持ちを込めて、心に残る「10周年記念例会」を開催したいと考えています。

過去を振り返り、そしてこれからの未来につなげる大切な機会にしたいと思っていますので、ぜひ一緒に盛り上げていきましょう！

活動は「楽しく、無理なく、でもちょっと本気で」がモットーです。

仲間とのつながりを大切にしながら、地域やYMCAとも良い関係を築いていければと思っています。

皆さんのアイデアや協力が、クラブの力になります。気軽に、自由に、いろんな声を聞かせてください。

今年一年宜しくお願い致します！

京都ブラックワイズメンズクラブ 会長 神谷 順也

会長主題 戮力協心

副 題 仲間と歩む、成長の道



このたび、京都ブラックワイズクラブの会長を務めさせていただくことになりました神谷順也です。

勢いのあるクラブの舵取りを任せられ、身の引き締まる思いとともに大きな誇りと責任を感じております。これまでクラブを築いてこられた先輩方への感謝を胸に、次のステージへ力強く歩み出したいと思います。

本年度は「戮力協心 ― 仲間と歩む、成長の道 ―」をテーマに掲げ、仲間との絆を一層深め、互いに支え合い、学び合いながら、一人ひとりが成長を実感できるような高め合うクラブづくりを目指してまいります。

誰かが困っているときには手を差し伸べ、互いの力を信じて支え合う。

そんな温かく、力強い仲間の絆を育んでいきたいと考えています。

また、ワイズメンズクラブの活動を通じて、「誰かのために自分たちに何ができるか」を常に考え、仲間とともに一步一步行動を重ねていきます。

小さな一歩でも、積み重ねていけば、やがて大きな支えとなり、地域や社会に確かな力を届けることができると信じています。

活動を通じて得られる喜びや達成感は、私たち自身の成長にもつながります。

挑戦を恐れず、支え合い、そして笑い合いながら充実した一年を皆さんと共に歩んでいきたいと思います。

笑顔と情熱を忘れず、常に前向きな心で、共に助け合い、挑戦し、喜びを分かち合う一年にしていきたいと思います。

皆さまのお力添えをいただきながら、精一杯取り組んでまいります。

一年間、どうぞよろしくお願い致します！

沖縄ワイズメンズクラブ 会長 長堂 嘉範

会長主題 沖縄ワイズとしてのカルチャーをつくる

副 題 次世代につなぐための土台づくり



2022年11月に西日本区・京都部への所属変更から3年目にあたり、手登根会長からバトンタッチとなり益々気を引き締めてワイズ活動に取り組んで参ります。

また、沖縄新風クラブの金武会長と連携し『沖縄ワイズとしてのカルチャーをつくる』を目標に、次世代に繋ぐための土台づくりを念頭に活動を進めていきたいと思っています。

そのためには京都部との連携が必要不可欠となりますので、多くのワイズメンバーの皆様との協力体制を構築していきたいと思ひます。

今年度の活度方針として

- ① 沖縄新風クラブと連携し会員数の拡大を進めます。
- ② 沖縄ワイズメンバーとの相互理解を図り、各々の強みを活かした連携を推進します。
- ③ 例会の取り組みも沖縄YMCA支援はもちろん、異業種との勉強会や情報交換も積極的に行い学びのある活動を重点的に取り組みます。

今後1年間の活動を通じてワイズメンバーとしての意識向上と更なる沖縄クラブの発展、沖縄での地域貢献を一步步進めていきたいと思ひます。

皆様の御指導、御協力を重ねてお願い申し上げます。

沖縄新風ワイズメンズクラブ 会長 金武 朝成

会長主題 みつけよう 伝えよう

副 題 足元を見つめワイズメンズクラブの魅力を再発見



今期で3期目の会長となりました。人員を増やし、盛り上げていこうと、沖縄クラブと合同で活動してきましたが、未だ突破できない状況となっています。

焦りも大きいですが、一つ一つ土台を作りながら、沖縄におけるワイズメンズクラブの魅力を見いだしながら、EMC活動を進めていく所存であります。人員の増強で、次期は会長を別のワイズメンに経験してもらいたいと思っています。

沖縄新風クラブと沖縄YMCAの関係性は、担当がしっかりコミュニケーションを取って居る状況ですので、今後も様々な支援を継続していくことが当面の目標となります。このあたりも、沖縄YMCAからの協力依頼に応えていく事しか出来ていないので、ワイズメンズクラブからの発信・提案もしていきたいと思っています。